

理科 年間指導計画 第3学年 広島市立瀬野川中学校

月	単元・題材名	時数	主に学習すること	学習の目標	評価の観点
4月 (11)	[生命] 生命の連続性 (14)	14	つながる生命 (1) 1章 生物の成長 (3) 2章 生物のふえ方と遺伝 (9) いろいろな細胞の源-幹細胞 力だめし (1)	成長や遺伝によって生命が受け継がれていくことに興味を持つ。 生物は細胞分裂によって成長していくことを理解する。 生殖について理解し、有性生殖と無性生殖の特徴を理解する。	1 3、4 2、4
5月 (13)	予備 (5)	5			
6月 (16)	[物質] 化学変化とイオン (24)	24	果実でモーターが回る (1) 1章 水溶液とイオン (11)  2章 酸・アルカリと塩 (11) 細胞内ではたらくイオン 力だめし (1)	身近な材料を使って電気が発生させ、化学変化への興味を持つ。 実験から、電流を通す水溶液と2種類の金属を用いると電流が流れることを理解する。 原子の構造からイオンのしくみを理解し、電解質の水溶液が電流を通すしくみや電池のしくみを理解する。 酸・アルカリに共通する性質を理解し、酸・アルカリの特性と中和反応をイオンと結びつけて説明することができる。	1 2、3、4 2、4 2、3、4
7月 8月 (8)	予備 (6)	6			
9月 (15)	[エネルギー] 運動とエネルギー (31)	31	どのようなとき運動がはじまるのだろうか (1) 1章 力のつり合いと合成・分解 (7) 2章 力と物体の運動 (7) 3章 仕事とエネルギー (9) 4章 いろいろなエネルギーとその移り変わり (3) 5章 エネルギー資源とその利用 (3) 多様なエネルギーを求めて 力だめし (1)	身のまわりにある物体の運動の様子を調べようとする。 2力のつりあいの条件、2力の合成、力の分解のしかたを、実験を通して見いだす。 物体の運動を記録し、物体の速さや運動の様子をしらべる方法を身につける。 物体にはたらく力と運動の関係の規則性を理解する。 仕事、仕事率の意味を理解し、力学的エネルギーの規則性を理解する。 いろいろなエネルギーがどのように移り変わるか理解する。 エネルギーの利用と環境保全の重要性について認識する。	1、 2、3、4 3、4 2、3、4 2、3、4 2、3、4 1、4
11月 (16)	予備 (6)	6			
12月 (10)	[地球] 地球と宇宙 (20)	20	宇宙の謎を追って (1) 1章 地球の運動と天体の動き (8) 2章 太陽系の天体 (6) 3章 恒星の世界 (4) 宇宙からの光、それはタイムカプセル 力だめし (1)	宇宙に関心を持ち、天体を調べようとする。 地球の自転、公転によって起こる現象が説明できる。 太陽系の天体の特徴を理解する。 恒星の特徴、宇宙の広がりを理解する。	1 2、3、4 2、3、4 1、4
1月 (12)	予備 (5)	5			
2月 (15)	[環境] 自然と人間 (23)	23	かかわり合う自然 (1) 1章 自然界のつり合い (5) 2章 人間と環境 (4) 3章 自然と人間のかかわり (5) 4章 科学技術と人間 (3) 5章 科学技術の利用と環境保全 (4) かけがえのない地球のために 力だめし (1)	生物が環境に影響していることに気づき、環境に関心を持つ。 微生物のはたらきを調べ、自然界のつりあいについて理解する。 人間が環境に影響を及ぼしていることを理解し、環境保全の重要性を認識する。 地域の自然について調査し、自然からの恵みや災害について理解し、自然との共生のあり方を考える。 科学技術の発展が、どのように日常生活や社会を変えてきたかを理解する。 科学技術の進展の成果と課題に気づき、課題を解決し、環境との調和を図りながら科学技術を発展させる必要があることを理解する。	1 3、4 1、4 1、3、4 1、4 1、2、4
3月 (8)	予備 (6)	6			
(140)	年間配当時数	112時間+予備28時間			

※総授業時数140時間

※※評価の観点 1 関心・意欲・態度 2 科学的思考・表現 3 観察・実験 4 知識・理解